
「核兵器のない世界へ」 NPT再検討会議にむけて ニュース

〒852-8107 長崎市浜口町6-5 木下ビル Eメール:nagasaki65@forest.ocn.ne.jp
電話・095・844・0705 FAX・095・844・0728 発行者 片山明吉



平和公園で署名

9月9日平和公園で6.9署名にとりくみました。この日は新婦人、年金者、共産党、県原水協から9名が参加し署名数は115筆でした。衆議院選挙をたたかった淵瀬栄子さんも参加、最後まで元気ががんばってくれました。高齢の被爆者が飛び入り参加、「私のような被爆者をつくらないために署名してください。核兵器はなくさなければなりません」とよびかけてくれました。

県原水協常任理事会

県原水協は7日夜、世界大会後初めての常任理事会をひらきました。世界大会の成果、熱い思いを署名推進の力に、そして来春のNPT要請団派遣のとりにくみをすすめることなどが提案され討論しました。NPTには現在 新婦人、共産党、民商、民医連などから14名が予定されています。署名推進では、新婦人は世界大会までの節目達成した経験、返信の数は少ないものの返信用封筒2000枚を活用した民商の経験、川口氏は、お寺、タクシー会社、郵便局、自治会など日頃のつながっている方々などに協力をお願いして、数百筆の署名を集めた経験から「気負わずに気軽にお願ひすること」が大事と発言しました。

また、新婦人からは、諫早がロングラン署名行動1回で400筆の署名を集めたのが全県の頑張りの契機になったこと、佐世保では、民商婦人部が定期的に行動していることが報告されました。「働き手をどうして増やしていくか」「経験をニュースなどで全県に広げること」「進んでいないところへの手当てすることが大事」など今後の方向性が明らかにされました。

佐世保で懇談会

県原水協事務局は、9月12日(土)午後佐世保原水協のみなさんと懇談会を行いました。県原水協から世界大会が大きく成功したこと。大会諸決議にふれながら核兵器をめぐる情勢と署名推進の意義について報告後、意見交換を行いました。新婦人は月1回4~5名で街頭署名にとりくみ1000筆余の署名を集めた経験、民商は散髪屋の会員さんがお客さんに署名



をお願いし、一ヶ月で300筆の署名を集めた経験など、オバマ演説後の市民の変化が一致して語られました。また、総選挙後の変化をいたる所で実感する、運動をやればやるほど要求が実現する可能性を感じるなど元気のでる懇談となりました。核密約問題で議会質問した山下市議からは、密約の事実が明らかになれば、基地の町佐世保でも大きく変化するだろうと語りました。

いま、気持ちの上でも我々が押し込んでいることを実感する。動く時には、署名用紙を手に「気軽に働きかけよう」と署名用紙と返信用封筒2000部を活用することになりました。